

4月11日（月）定例記者会見における知事発言要旨

東日本大震災から1か月を経過して

3月11日に東日本大震災が発生して以来、今日で1か月が経過いたしました。愛知県、市町村など県内の各機関におきましては、本日、地震の発生した午後2時46分を期しまして、震災により犠牲になられました方々に対して一斉に黙祷を捧げることとしており、県民の皆様にも是非ご協力をお願いしたいと思います。

この国難とも言える大災害に対して、今後は、一日も早く被災地域の復興・復旧を進めるとともに、被災された方々への生活再建に国を挙げて取り組まなければなりません。

とりわけ、愛知県は、日本のモノづくりの中心地として、我が国の経済活動をリードしておりますことから、国の復興・復旧に貢献すべき大きな責任があります。

このような中、県内の社会経済活動が、一連の自粛行為により消極化し、冷え込むことは、結果として被災地域の回復を遅らせるとともに、被災された方々の生活再建を妨げることにもなりかねません。

このことは、これまでもお願いしてまいりましたが、愛知県民の皆様におかれましては、東日本大震災以来1か月後に当たる本日を期して、速やかに平常の状態に戻られ、本来の活動を積極的に進めていただきますようお願いいたします。